



# 小樽南ロータリークラブ会報



1960年創立  
昭和35年2月5日

9

2018年 9月14日発行  
通巻 第2843号

●本日9月7日金のプログラム

◆平成30年北海道胆振東部地震  
9月6日未明に発生のため休会

●来週9月14日金のプログラム

◆永原 勢子 様 (STV札幌放送局)

●再来週9月21日金のプログラム

◆新人会員3名(田中・山谷・井手)による卓話(質疑応答形式)

●2018-2019年度 IRテーマ



インスピレーションになる

2018-2019年度  
RI第2510地区重点課題

- 組織を活性化しよう
- ロータリーの認識・理解を深めよう
- 地域社会との関わり合いを深めよう

- 例会場/ニュー三幸
- 例会日/毎週金曜日12時30分
- 事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 TEL.0134-33-3500
- Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第8回例会報告(8月31日金) ガバナー公式訪問

◆国歌斉唱【君が代】

◆ロータリーソング【奉仕の理想】

◆ゲスト・ビジターの紹介

小山 司 氏 (国際ロータリー第2510地区ガバナー・札幌RC)  
高橋 哲雄 氏 (国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐・余市RC)  
森 義仁 氏 (国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐事務局・余市RC)

◆会長報告【工藤会長】

本日は「小山ガバナー公式訪問例会」となりますが、小山ガバナー・高橋ガバナー補佐・森ガバナー補佐事務局員、ようこそお出でいただきました。後ほどのご講話大変楽しみにしております。

◆幹事報告【湊幹事】

- 例会変更のお知らせ
- 地区大会登録料個人負担金 10,000円を徴収いたし

ますのでよろしくご協力ください。当日の会場までの送迎貸切バスの手配等詳細が決まり次第随時お知らせ致します。

- 例会終了後、記念写真の撮影がありますのでご協力のほど願います。

◆出席委員会

平成30年8月31日(金)

会員総数 65名 本日の欠席者 11名  
東、上野、岡崎、佐藤(公)、高橋、地山、西谷、福島、保知、堀内、宮川

平成30年8月17日(金)

休会につき 確定出席率 100%

◆メーカーキャップ

8/31 山田 (国際RC)

## 「会長・幹事会」・「クラブ協議会」

スナップ写真



まごころ箱

- 小山ガバナー ニコニコボックス。
- 高橋ガバナー補佐 ニコニコボックス。
- 工藤会員 祝！ガバナー訪問。小樽市長選挙、多くの方々にご協力いただき有難う御座います。
- 濱本会員 心願成就！祭典委員長無事終了！ **山村会員** お先に失礼。神や仏などに心から祈っていると願いは叶えられる。
- 松浦会員 小山ガバナーにご訪問いただき感謝申し上げます。
- 斎藤会員 浅草橋、中庭ビアガーデン、北運河の3イベント無事終了致しました。会員みな様には大変お世話になりました。
- 石川会員 欠席が多くて申し訳ありません。自分の席があって良かったです。

まごころ箱入金集計額  
(H30.7.6~H30.8.31)

8月31日分 30,000円

合計 **234,500円**

いつも有難うございます！



# ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 小山 司様(札幌RC)



本日、公式訪問ということで訪問にあたり、心温かい歓迎を受けまして感激しております。今日で33回目の公式訪問となりますが、今までで会員数が一番多いクラブでの「公式訪問」であります。

午前中に「会長・幹事会」・「クラブ協議会」において、当、小樽南RC野 現状・今後の計画等々をご報告いただきました。特に「小樽南ロータリークラブ未来会議」立ち上げ 元気なクラブ、会員増強等に力を注いで行く姿勢に感銘を受けました。また、当小樽南RCから地区役員として、岡崎会員、松浦会員、山田会員、紺谷会員が参加されております。深く感謝致しております。有難う御座います。

1920年10月20日、東京ロータリークラブが創設されました。2年後の2020年に日本のロータリーの100周年を迎えます。それに伴いいろいろ計画されておりますが、この6月に100周年記念ゴングが34地区にひとつずつ贈呈されました。このゴングに小槌がついて、台座には我が地区の名前が設立順に刻まれております。見ますと小樽南RCは69地区の内14番目に刻まれております。



(中略)

ロータリーの創始者ポール・ハリスについては皆さんよくご存じだと思いますが、ロータリーの創始者ポール・ハリスは、元々ミシガン州の生まれですが、育ったのはニューイングランドの祖父母の下で幼少期から青年期まで生活をしました。小さな村で育ち、大変厳しい環境の中で培われた飾り気の無い実直性、勤勉性、あるいは質素という物を尊重しようと、この様な気風の中で育った事が、彼のロータリーの創立に繋がったのではないかと考えられますが、北海道の気候、自然環境が彼と似ている様に感じられます。

北海道を開拓した当時の農務長官のケブロンもアメリカマサチューセッツ出身ですし、北海道にあった農作物のアドバイスを与えるとともに、札幌農学校の創立にも寄与し、後任のクラーク博士の就任も決められてアメリカへ帰国しましたが、クラークも副教頭として赴任しましたが、彼もニューイングランドの出身である事を付け加えまして、節目について少しお話しをさせていただきました。

次にみな様方からもご寄付いただいている優先課題のポリオプラスですが、ポリオ撲滅運動についてお話をさせていただきます。1988年に当時ポリオ発症者35万人を超えており、ポリオ撲滅のキャンペーンを展開した訳ですが、去年は22名、今年7月末で13名の発症者が確認されております。

(中略)

最後にまとめにはいりますが、現在私たちは厳しい状況にあるといっても良い状態にあります。現在都市部と地方の人口格差が大きくなり、相対的に日本の人口は減少しております。女性の95%の20代から39才までの人が出産するという事で、これを出産年齢人口といいますが、因みに2000年は1,750万人だったのが、2020年を迎えようとする現在は1,270万人位になっており、わずか20年で25%も減少していることとなります。合計特殊出生率は1947年には4.53人なのが、現在は1.21人となっております。

この事から人口減は避けられませんので、ロータリーの増強は30代・40代に参加してもらう様に考えなければなりません。ロータリーが新しい時代の活動内容を展開して、活動を継続させるためにどんどん若い会員を勧誘していただければと思います。冒頭でも言いましたが、小樽南ロータリークラブはそう言った意味で、先端を行っていると思います。これからも色々困難なことがあろうかと思いますが、大先輩を含め世代間ギャップを最小に出来るよう交流を深めて小樽南ロータリークラブがさらに発展していく事を期待して私の公式訪問での卓話とさせていただきます。有難うございました。



## 高橋ガバナー補佐ご挨拶

第6グループガバナー補佐を務めさせていただいております高橋です。所属は余市ロータリークラブです。俱知安、小樽銭函 そして当 小樽南ロータリークラブさん、第6グループの3番目のクラブ訪問であります。小山ガバナーもお話しされておりましたが、大きなクラブへの訪問は大変緊張いたします。午前中の「会長・幹事会」・「クラブ協議会」での当小樽南RCが進めております。若手会員の登用、小樽南RC未来会議への取り組み等で、現在のロータリーが抱えております様々な厳しい現状を真摯に受け止め行動しててる事に深く感銘を受けました。

今後とも小樽南RCの発展そして会員みな様のご健勝をご祈念申し上げます。



### お知らせ 「しあわせの呼吸」9月札幌にて上映

28才で病気を発症して、36年間人口呼吸器をつけて人生を全うした実話に基づいた映画。

本人とその家族のお話ですが、ポリオサバイバーと言われておりますが、我々の活動を理解していただく為にもぜひ観ていただきたい映画となっております。